

# 診断あきた

◆発行者 一般社団法人 秋田県中小企業診断協会 ASCA  
所在地 〒010-0013 秋田市南通築地1番1号  
郵便物 〒010-8799 秋田市保戸野鉄砲町5-1  
秋田中央郵便局私書箱第25号  
ホームページアドレス <http://www.shindan-akita.com/>



令和4年9月1日

## 第30号

### 巻頭言



#### 『伴走型の時代へ』

会長 佐瀬道則

2019年暮れに始まった新型コロナウイルス騒動は、変異を繰り返しながら収束に至っておらず、2年半余りの月日が経過しました。

それでもオミクロン株になってからは欧米を中心にコロナ規制が緩和され、わが国も遅ればせながら平時に戻りつつあります。パンデミックの渦中から、withコロナ、そしてafterコロナの時代へ向けて世の中が大きく動こうとしています。

そんな中で、中小企業診断士を取り巻く環境も大きく変化しており、資格取得人気の衰えない診断士に対する期待はますます高まっていると感じます。

#### 1. 昨年度の活動状況

令和3年度は新型コロナ禍における新しい生活様式が定着して行く中での事業展開となり、「三密回避」で避けて来た対面型の会議等も徐々に再開しました。

総会、理事会、登録更新研修等を予定通りリアルで開催したほか、11月6日の「しんだんしフェスタ」では(株)つむぎ秋田アニメLabの櫻井社長に「地方におけるアニメビジネスとその展望について」、11月20日には第1回オープンセミナーとして(有)コンテンツ計画の

有坂社長に「ワーケーションの現在地、秋田の課題と可能性」、年明け1月29日には第2回オープンセミナーとして東北経済産業局の渡邊経営支援課長から最新の施策紹介と当会会員であるフォームズ(株)の小笠原社長から「リモートワーク成功の必須条件～今、必要な情報セキュリティ対策～」と題して、それぞれ講演していただきました。

#### 2. 今年度の事業計画

全国連本部の理事会や総会等も昨年度末ごろからリアルでの開催となりましたが、今年度も全国連の事業計画に準じて、コンプライアンス徹底やブランディング戦略等の事業に取り組みます。

また今年も早めの日程確定に努めた結果、「しんだんしフェスタ」の日程と講師も決まり、今のところリアル開催の予定にしております。

#### 3. 「伴走型支援」の推進に向けて

今年度の中小企業庁の重点施策のひとつとして「伴走型支援の推進」が挙げられております。詳細はこれから具体化して行きますが、中小企業・小規模事業者に寄り添いながらの伴走型支援活動は、幅広いエリアをカバーできる中小企業診断士が担うに適した分野でもあり、今後の活動分野の拡大につながるものと確信しております。そのためにも引き続き会員個々の更なるレベルアップを図って参りたいと存じます。

関係各位におかれましては、当協会及び所属会員に対し、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。会報発行のご挨拶といたします。



## 渡部 信子

### 新人のおばちゃん診断士 誕生のワケ

東京の高校に進学が決まった15歳の春、朝9時、私の自宅に国税査察官が5人やってきました。慌てて勝手口から近所の公衆電話まで走り、事業を営む父に電話をすると「会社にも9時に査察が来たよ、もうおしまい」という事件が起きました。生涯のトラウマ発生のその日、私は『税金をちよるまかすことはしない(当たり前である)』と決意し、簿記を学ぶきっかけとなります。

怠惰な東京での高校生活の末、両親に怒られ秋田に帰された私は、簿記資格を取得後、両親の営む企業で経理課に所属します。人の何倍も仕事は早いですが協調性のない私(後にハラスメント相談でそんな若者に出会う度に猛省)は、25歳で「起業したい」意欲にかられます。そこで目をつけたのが「占い館1999」(顧客が複数の占い師から指名する)という店のフランチャイジーでした。秋田にまだない商売を選んだ結果でした。診断士の私から当時の自分に声をかけることを想像す

ると笑ってしまいます。ともあれ起業した私は、古い原稿を複数の媒体に提供するプロモーション戦略、顧客との関係性を築く関係性マーケティングを実践、占い師や受付係を社会保険に加入させ、嬉々として消費税の計算をする生活を27年間送りました。

同時に秋田青年会議所(JC)に26歳から所属し、若手経営者と研修事業等に精力をつぎこみます。JC卒業後は、接客マナー、心理学、メンタルヘルスマネジメントなどを学び、経験を経て自店だけでなく、外部の企業で「ビジネスマナー講師」の仕事もするようになりました。ある日、コミュニケーション研修を実施した企業の部長から言われたのが「せんせ、その話よ、うちの社長にも言ってけれ(言ってください)」というもの。社員研修は組織戦略の一部として実施されるべきであること、私が経営者に組織論を踏まえた提案をすべきであることに気づきます。53歳で初めて自分が本当にやりたい職業が見つかった瞬間でした。

古い館を廃業し、先輩診断士の長谷川晃氏の下でアシスタントとして修業し診断士試験を受験、札幌商工会議所診断士養成課程を2021年9月に修了、晴れて新人のおばちゃんの中小企業診断士となりました。

先輩各位、どうぞ温かくお見守り下さいませ。

詳しいプロフィールは診断協会HPで



## 渡邊 望 東

初めまして。渡邊望東(わたなべもと)と申します。1981年6月30日生まれで、秋田銀行横手条里支店に勤務しています。

中小企業診断士の資格取得を目指したきっかけは、過去の銀行業務において、経営状況の厳しい企業を救うことができなかつた経験があったためです。当時の私は企業が衰退していく様をただただ見ていることしかできず、その企業が経営破綻に至った後に「自分に何かできることはなかったか？」と自責の念に駆られ、「経営者に寄り添い、経営に対する助言・支援を行いたい」との思いで中小企業診断士の資格取得を志しました。

特技は、小学校4年生から大学4年生まで競技スポーツとして続けた「卓球」です。現在も年に2回ほど試合に出ていますが、現役時代と比較して現在の体重は+10kg超ありますので、現役時代の動きはもはや見る影もなく、飛んでくる球に翻弄されながらもラケットを振っている(ラケットに振られている!?)状態です。

世界卓球選手権大会で合計12個の金メダルを獲得した故萩村伊知智朗氏は「卓球は100m走をしながらチェスをするような競技」と言いました。これは、卓球という競技は身体能力が高いだけでは勝てず、一定の距離を全力疾走する中で、チェスを指すような綿密な

戦術が必要だということを表した言葉とされています。卓球は、自分の得意な技術や相手の苦手な技術を分析した上で、自身の保有している能力や特徴を最大限に生かした戦術をとることで、試合に勝つ確率が高まる一方で、戦い方、つまり戦術を間違えて相手の土俵で勝負をしてしまうと負けにつながる確率が高まります。また、試合中、戦況は絶えず変化し続けており、現在の置かれている状況を十分に理解・分析しながら新たな戦い方を考え試合を進めることが重要です。

少々強引ですが、これを企業経営に当てはめると、①経営理念や経営者の思いに準じて、②自己を知り(内部環境を分析し)、③相手を知り(外部環境を分析し)、④戦略を決定し経営を行っていくということに相通するものがあると考えます。実際の中小企業においては、経営者自身が日常業務に追われ、環境分析や戦略立案など企業経営の土台や仕組みができていない企業も相応にあると思われます。そのような中、中小企業診断士に求められているものは、経営者に親身になって寄り添い、気づきを与え、専門知識・スキルを生かした具体的で実効性のある経営支援や助言等を実行していくことだと考えます。

私は、「自分に何かできることはないか？」と常に自問自答を繰り返し、経営者の思いや夢の実現に向けた支援ができる中小企業診断士になりたいと思っています。そして、地元秋田県の地域・社会の発展に責任感を持ち尽くしていく所存です。どうぞよろしくお願いたします。

# 新会員から一言



## 加賀谷 勝 臣

1976年生まれ  
秋田県中小企業診断協会所属

資格取得を目指した動機はネガティブな発想ですが、将来への強い不安からでした。過去に中小企業メーカーの品質管理に所属し、品質問題等に追われ、自力で改善するための下地が無いために改善活動が進められず、自分の改善対応力の低さを悔やみ、生産現場に関する知識補充が出来ないかを探していたところ、この資格にたどり着きました。当初は試験範囲の広さと難易度に驚愕し、しばらくは躊躇したものの、中途半端な気持ちでは先が見えない不安から、思い切って資格取得を目指すことにしました。何も知識やスキルの無い自分が取得して大丈夫かと不安でしたが、勉強していく中で経営の知識が全体的に把握することが実感出来、これまで工業畑であった自分に頭の中に、経済や財務、法務、情報システムなどの幅広い知識と経営改善に応用できることを少しずつ吸収しました。その過程で転職先の上場企業で製造管理業務の傍ら棚卸のルール整備等で一定の評価を頂いたことをきっかけにより幅広い管理業務の機会を頂きました。財務・法務・内部統制・安全管理・環境対応・公的補助金申請など経営に付随する仕事を任せて頂きました。受験勉強期間は10年と長く、特に国語が苦手だったことで2次試験対策には人一倍苦労しました。おかげで苦手な国語

力がある程度改善されたと感じています。元々関東在住でしたが、現在は母親の故郷であり前職で交流のあった秋田県に移住し、北秋田市の地域おこし協力隊として、林業や地域雇用の活性化、動物愛護普及活動を積極的に進めています。なお、秋田県で動物愛護センター“ワンニャピア”を設置し、動物愛護を積極化したことも移住の決め手の一つになりました。現在は主に県内の温泉巡りや自然を楽しんでいます。好きな言葉は「不言実行」です。今後は、取得した資格を活かすために、県内・県外に人的ネットワークを積極的に広げ、かつ、地域で困っている中小企業に喜ばれる支援をしていきたいと思っています。及び、人口減少が大きな悩みでもある秋田県の地域活性化に微力ながら貢献できればと思っています。また、これまで数社の中小企業メーカーの事務・管理業務等に属していた経験を生かし、メーカー企業を軸に支援し、前職でも実績のある公的補助金（ものづくり補助金、IT導入支援補助金、省エネ補助金、及び秋田県等の各自治体の支援策など）及び、それに付随する経営力向上計画、経営革新計画などの作成支援もしていけるよう、より高度な知識補充と、個々の企業の特性に配慮した柔軟な対応力を備えていきたいと思っています。また、自身のスキルアップのため、県内の協会で実施している勉強会等への積極的な参加、実務補習でお世話になった宮城県・北海道・広島県をはじめ、他県の協会メンバーとも交流を深めていきたいと思っています。中小企業診断士と表立って名乗るにはまだ未熟で時期早々ですが、これからも勉強を続けて参ります。

## 寄稿



## 「ロカベン」まるごと活用術

はーとBiz代表  
松 舘 文 子

### 1. ロカベンって1枚目だけじゃない？

ローカルベンチマークって、「損益計算書などの数字を入れるとレーダーチャートになって評価が出てくるけど、業種がざっくり過ぎて正しい評価とはならない使えないツール」と思っていないですか？

実は、私自身が去年までそう思っていたのです。

そんなある日、一緒に養成課程を受講した仲間が連絡してきて、「松舘さん、ロカベンって、2枚目や3枚目があるって知ってました？」というわけです。「そうなの?!」1枚目を見ただけで、ロカベンを無視していた私は、すぐにその勉強会に参加することに

しました。

### 2. 知的資産経営研究会 in Tohoku

それは「知的資産経営研究会 in Tohoku (<https://www.chitekishisan.net/>)」という勉強会です。所属してみてもわかったのは、ロカベン「企業の良いところを発見し、それを伸ばしていく」という目的をもって使ってこそ、威力を発揮するツールだということです。1枚目は目に見える財務の資産、2枚目、3枚目は目に見えない会社の資産を見える化するシートです。なので、2枚目、3枚目がロカベンの本領発揮ポイントだったのです。

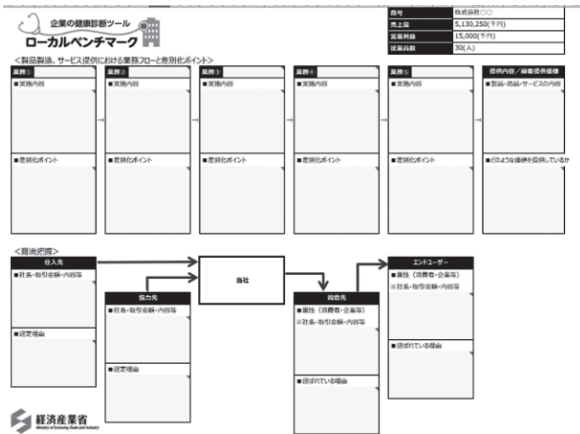
この研究会では、ロカベンを使って企業と支援者が対話を重ねていった経緯を細かく報告してくれます。最初は心を開かなかった経営者が、回数を重ねるごとに変わっていくのが実感できます。

ふむふむ、ロカベンはフレームワークではなく、対話のためのツールだったのかと気づかされました。



### 3. ロカベン2枚目

ロカベンの2ページ目は、企業が行っている業務内容や、商流が把握できるものになっています。

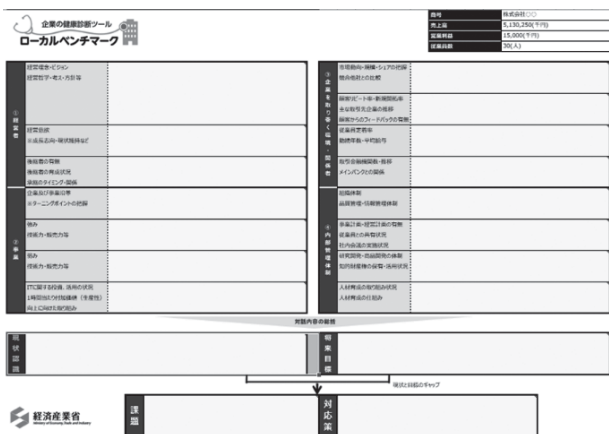


しかし、このページの目的は、「ビジネスを俯瞰すること」ではなく、「いいところを発見・発掘すること」です。上部の業務フローを書くスペースには、業務が川上から川下へと流れ、その業務一つ一つに「差別化ポイント」を記載できるようになっています。

この図を経営者の方と支援者が一緒に作り上げていくことで、企業のバリューチェーンが見える化します。最終的にお客様に届けられる価値がどこで生まれ、どのように運ばれているか、経営者も無意識だったところを再認識できるのです。

下部の商流を書くところでは、「その企業が選ばれている理由」を記載するスペースがある点が重要です。「どうして選ばれているんでしょうね?」「うーん、昔からつながりがあるからね。」「昔からのつながりが途切れずに続いているのはどうしてでしょうね?」などと聴いていくと、今まで見えなかった企業の魅力が発掘されます。経営者の方は、ロカベンを挟んでコンサルタントと対話することで、自社が顧客に選ばれてきた理由を知り、これからの時代も顧客に選ばれ続けるための課題が見えてくるわけです。

### 4. ロカベン3枚目



その課題を抜けもれなく検討するためにあるのが、3枚目のシートです。

ここでは、①経営者、②事業、③企業を取り巻く環境・関係者、④内部管理体制という4つの視点から、企業の現状を把握できるようになっています。

2枚目のシートを記載すると、顧客目線での自分たちの価値が把握できているため、4つの視点に立ってその価値をこれからどうするのかという課題を考えることができます。

### 5. 会社の資産は決算書だけじゃない

通常、外部に開示された資産といえば、「決算書」ということになりますが、それは結果であり、原因があるはず。ロカベンの2枚目、3枚目を作り上げたら、自分たちの会社が顧客に選ばれてきた価値がわかるので、「うちの会社は、あなたにとってこんなにいいサービスを届けられますよ!」とはっきり言えるわけです。経営者からは、「この作業を通して、従業員に変化が訪れ、会社が変わっていった。」という声が聞かれます。

### 6. この取り組みは秋田発

実は、このロカベンを活用した企業の魅力発掘の取り組みが実現したきっかけは、秋田だそうです。

それまでは、「会社のいいところを見つけて、それを伸ばすのが一番」という経営手法は言われていましたが、これとロカベンは結びついていなかったらしいのです。

ロカベンはロカベン、会社の魅力発掘は会社の魅力発掘、別々に存在していました。

秋田で会社の魅力発掘の経営手法の話聞いた方が、これにロカベンを使ったらいいんじゃないかと思いつき、その後ロカベンをツールとした会社の魅力発掘ワークショップが最初に開催されたのも、秋田だったそうなのです。

その後、この取り組みは東北を中心に全国に広がり、沢山の企業がこの取り組みを機に実績を上げています。

今では、ロカベンといえば、企業の魅力発掘のためのツールとなっているようです。



一分でわかるローカルベンチマーク動画

[https://www.youtube.com/watch?v=\\_3jH](https://www.youtube.com/watch?v=_3jH)

### 7. ロカベン活用に必要な技術

確かにロカベンはよくできていますが、経営者が1人で取り組んだのでは、それほど化学反応は起きない気がします。もっと恐ろしいことに、支援者の言葉一つで、化学反応どころか、企業が内側から変わろうとする道も閉ざしてしまうかもしれないと感じます。

自分の興味でものを聞かない、自分の知識を披露しない、沈黙を恐れない、など、支援者として心がけることが沢山あり、頭でわかっているのに、一朝一夕にはできないようです。研究会は、診断士としての傾聴力や対話力の大切さを考えさせられる時間になっています。興味があれば、ぜひ松館にご一報ください。



# 第67回定時総会 出席報告

佐 瀬 道 則



令和4年6月15日（水）、銀座フェニックスビルを会場に連合会本部の「第67回定時総会」が開催されました。当日は3年ぶりにリアルでの開催となり、私は現地へ出席いたしましたが、一部リモート出席も併用したハイブリッド方式が採用されました。

## ◆中小企業庁による施策説明

総会開催に先立ち、中小企業庁経営支援部経営力再構築伴走支援推進室 林室長より「中小企業に対する伴走支援の新たな取り組みについて」説明がありました。

### 1. 議案

今年度の議事は以下の通りです。

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算承認

第2号議案 令和4年度事業計画及び予算報告

第3号議案 令和3年度公益目的支出計画報告

第4号議案 役員改選

以上について、いずれも満場一致で承認、報告は了承されました。

### 2. 協議・報告内容等について

冒頭、米田会長より、コロナは収束傾向を見せ始めているがまだまだ油断はできず、一方で経済は不安定化が増し、中小企業を取り巻く経営環境の激変に対して、診断士の果たすべき役割が益々重要性を増している、という旨の挨拶がありました。

また議案審議の詳細説明の中で、野口専務理事や事務局から次の点について報告がありました。

- ①中小企業診断協会の令和元年度末会員数は11,982名とここ6年間で2,008名の増加となり、また受験者数の推移でも診断士は2万名台を維持しており、他士業が軒並み受験者数を減らしている中で依然

として一定の水準を維持している。

新たに制定した「診断士バッジ」は、これまで約9,500個を配布済みで着用率が向上している。

- ②令和4年度重点事業の詳細は次の通りです。

- |  |
|--|
| 1. 診断士へのコンプライアンスの周知・徹底                   |
| ・コンプライアンスマニュアルの作成及び関係諸規定の整備              |
| ・会員診断士へに対する周知・徹底                         |
| ・受託業務はコンプラ研修受講者に限定する 等                   |
| 2. 診断士のブランディング戦略の推進                      |
| ・品質の向上への取り組み                             |
| ・中小企業診断士の日（11月4日）のPR活動                   |
| ・中小企業診断士バッジ着用の一層の推進 他                    |
| 3. 中小企業診断士による専門知識の共有化の推進                 |
| ・企業内診断士の活用促進、調査研究事業、スキルアップ研修、国際交流・協力事業 他 |

- ③公益目的支出計画が前倒しで完了する見込みであり、次なる事業展開を検討中である。

- ④任期満了に伴い、新たに20名の理事が選任され、臨時理事会で下記の新役員が選任されました。

会 長	松枝憲司（東京；新任）→画像
副 会 長	石川君雄（愛知；再任）
副 会 長	西里喜明（沖縄；新任）
副 会 長	森川雅章（東京；新任）
専務理事	野口 正（連合会本部；再任）



### 3. 総会に出席して

総会の席上で私から意見を述べ「全国連本部の名称変更」及び「独占業務の指定」についての検討を要請しました。また東北ブロックの代表として全国連理事を3期務めて来ましたが、このたび宮城県の菊田新会長に交替し、私は退任となりました。ただし広報委員には再任されたので、会員各位には引き続き各種情報を提供して行きたいと思っております。

（以上）



荒 牧 敦 郎

**『パーパス「意義化」する経済とその先』**  
岩 崎 博 論、佐 々 木 康 裕 著  
-----  
**『プロセスエコノミー』** 尾 原 和 啓 著

「パーパス経営」、最近この言葉を目や耳にしたことがあるだろうか。『パーパス「意義化」する経済とその先』は、パーパス経営の概念や実践方法について書かれた本である。パーパス (purpose) という英単語は普通、「目的」と訳されるが、本書はこの言葉を「社会的な存在意義」と捉えている。

つまり、企業は何のために存在するのか、社会においてどのような責任を果たすのかという問いに、企業は明確な答えを提示することが求められており、その答え、「パーパス」を企業活動のコアに統合していく必要があるというのが本書の主張である。

経営上の基本的な考え方という意味では、パーパスも経営理念と位置づけられる。では、これまで経営理念の要素とされてきたビジョン (将来構想) やミッション (使命) と、パーパスはどう違うのだろうか。本書はそれを「小さな船と大きな船」という比喻を用いて説く。すなわち、ビジョン、ミッションは企業がなりたい姿を一人称的に表現するもので、その企業しか入らないサイズの「小さな船」である。一方、パーパスは多様なステイクホルダーが共存するあるべき世界の姿を三人称的に描いた「大きな船」である。

パーパスが重視されるようになった背景には何があるのだろうか。今や、政治不信やメディア不信は世界共通の現象となっており、消費者はそうした「信頼の空白」を埋める存在として、企業に気象変動や差別などの社会課題へのオピニオン発信や、実際の解決を求めるようになった。企業の側も、長く続けてきた「株主利益至上主義」を覆し、「社会善」に訴えるビジネスへの転換を進めている。企業が説明責任を負う相手、ステイクホルダーも、株主に加えて、顧客、従業員、サプライヤー、コミュニティへと広がっている。

本書ではパーパス志向を持つ企業の例を数多く挙げているが、その一つにスマホアプリを顧客との窓口にする保険会社、Lemonadeがある。同社は一定のフィー

を徴収した後の「支払われなかった保険金」を、自社で貯め込むのではなく非営利団体への寄付に回すギブバックという仕組みをつくった。Lemonadeには名だたるベンチャーキャピタルが出資し、2020年7月、ニューヨーク証券取引所に上場を果たした。

すなわち、従来の企業のように「事業の傍らで社会貢献も行う」というスタンスではなく、パーパスを経営の中心に据えて活動する企業が顧客や投資家からの支持を得て成長する状況が生まれているのだ。

本書は、パーパス起点のビジネスのあり方についても述べているが、その中に「プロダクトからプロセスへ」という節がある。ここでは、企業が規模の大きい社会的課題に挑むにあたり、「(消費者と)「プロセスと一緒に歩む」という要素もビジネスに付加されていくことが述べられている。

『プロセスエコノミー』は、この「消費者とプロセスと一緒に歩む」ビジネスのあり方について書かれた本であり、『パーパス「意義化」する経済とその先』と大きく共通する問題意識に基づいていると思える。

今は、プロダクトのクオリティ水準が全般的に高まり、もはや品質による差別化が難しくなっている。そんな状況ではプロダクト自体ではなく、プロダクトを生み出すプロセスが相対的に重要視されるようになった。そして、プロセスに価値が増えていった先にあるのが「プロセスエコノミー」である。

プロセスに価値があるなら、プロセス自体でもう課金しちゃった方がいいんじゃない? という動きも出始めている。例えば、マンガ家ならばマンガを売るというより「マンガを描いている姿をライブ配信して、そこで投げ銭をもらおう」というイメージである。クラウドファンディングも、プロセスから知っているので長期的に応援してもらえる可能性が高くなるというメリットがある。

本書が述べるプロセスエコノミーの実践方法では、自分の中にあるWhy (なぜやるのか・哲学・こだわり) をさらけ出すことが最も大切とされている。What (アウトプットの内容) で勝負しようとしても競争の激しいレッドオーシャンの市場で勝ち残るのはとても難しく、Why (なぜやるのか) を開示して、狭くても深い支持を得ることが大切なのだ。

この「Why」と前述の「パーパス」には、ビジネスの根本的な動機、起点を重視するという共通点がある。

現在のビジネスのあり方を考える上で、ここに紹介した2冊の本は示唆するものが大きい。ご一読をお勧めします。



# 連載



## 『まちづくり 比較考』

— その5 —

佐瀬道則

シリーズで紹介している各地のまちづくりの事例。第1回はブラチスラヴァ（スロヴァキア）と古町（新潟市）、第2回はブダペスト（ハンガリー）と金沢（石川県）、第3回はトレド（スペイン）と竹田市（大分県）、第4回はミハス（スペイン）と小布施町（長野県）を比較して来ました。

今回はドレスデン（ドイツ）と松本市（長野県）を比べてみます。

### 1. ドレスデン

ドイツ東部（旧東独）、ザクセン州の州都です。エルベ（Elbe）川沿いの平地に開けた町で、チェコ共和国との国境近く（30kmほど先）に位置しており、陶磁器の町として有名なマイセンまでも約25kmと近く、エルベ川が両市を結ぶ重要な交通路でした。人口は約51万人。

7世紀以来スラブ人が住み着いていたこの街が、最も発展したのは18世紀前半のアウグスト強王の時代で、マイセン焼きのタイルで描かれた壁画「君主たちの行列」が有名です。



もう一つ、この街を特徴づける要素が「音楽」で、17世紀ドイツ音楽の中心地のひとつでした。モーツァ

ルトが初演したこともある「ゼンパー・オーパー（州立歌劇場）」が街の中心に聳えており、入口の両脇に鎮座する銅像は、ゲートとシラーです。18世紀中頃に建てられたこの歌劇場は、第二次大戦中の1945年、連合国軍の爆撃を受けて瓦礫の山になりましたが、1977年から地道な復興活動が続けられ、1985年にはほぼ復興したものの、周辺の建物も含めると現在でも復興が続けられています。



ドレスデンは音楽の街でもあり、同時に美術の街でもあります。アウグスト強王の時代に築かれたバロック様式の「ツヴィンガー宮殿」の一角にはドレスデン美術館があります。

ラファエロなどの絵画も有名ですが、何と言っても圧巻なのは陶磁器のコレクション。



お隣マイセンの陶磁器はじめ、日本の古伊万里、中国製磁器陶磁は約30,000点といわれており、日本の「柿右衛門様式」の分類は、1721年に、呼称は別として、このコレクションによって行われていました。

音楽と美術を軸に文化的な雰囲気も充実している街がドレスデンです。



## 2. 松本市

ドレスデンの街と共通点が多い日本の街は、北アルプスの麓に位置する長野県松本市です。

長野県西部に位置するこの街のキャッチフレーズは、「文化香るアルプスの城下町」、「三ガク都（楽都、岳都、学都の三つのガク都。）」などがあり、音楽や文化というキーワードで街を語れるという意味で、ドレスデンとの共通点が見出せます。



音楽をメインにした街づくりで知られる松本市を代表する音楽フェスは、毎年8月～9月に開催される、小沢征爾ら一流の音楽家が一斉に集う「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」です。

メイン会場となるのは「キッセイ文化ホール」ですが、市民芸術館はじめこの時期は市内のあちこちで大小様々なイベントが開催されます。



私がこのフェスの開催時期にこの街を訪れたのは2017年8月のこと。JR松本駅からメイン会場へ向かうシャトルバスから見える街並みは、あちこちに音楽の香りが充満しており、会場に入ると信州ワインのサービス、短パンにTシャツの方からドレスを着ている方まで様々で、自由で明るくウキウキした雰囲気一杯でした。何と言っても当時82歳だった小沢征爾さん

ご本人がステージで指揮をする姿をナマで見ることができたのも感激でした。



もう一つ松本市を語るうえで外せないのが、国宝「松本城」です。普段は行列ができる超人気スポットですが、私が行った時はたまたま空いていて、列に並ばずに入城することができました。

典型的な平城で、本丸・二の丸・三の丸ともほぼ方形に整地されており、南西部に天守を置いた本丸を、北部を欠いた凹型の二の丸が囲み、さらにそれを四方から三の丸が囲むという、梯郭式に輪郭式を加えた縄張りになっていて、これらは全て水堀により隔てられています。我が国に現存する12天守の中では唯一の平城です。

この他、松本市には旧開智学校をはじめとした歴史的建造物や街並み、美術館、博物館、資料館などが非常に多いのも特徴です。

## 3. 香り立つ文化

二つの街に共通しているのは、音楽、美術、建築、歴史といった特長を最大限活かした街づくりを行っている点と、街の形成に大きな役割を果たしたのがエルベ川と梓川という「川」であることです。

逆に正反対なのは、ドレスデンが空爆で一度壊滅したため、艱難辛苦を経て復興に尽力して来た街であるのに対し、松本市は第二次大戦での戦災を免れたため歴史的な建造物がそのまま残っていることです。

いずれにせよ、どちらの街も歴史的な成り立ちとそこで育まれて来た個性を、豊かな自然環境と共にとても大切にしながら「文化の香り豊かな街づくり」を行っています。  
(以上)

# 令和4年度 定時総会開催

令和4年5月7日(土)、午後3時30分より「佐のいち」において、一般社団法人 秋田県中小企業診断協会令和4年度定時総会を対面方式で開催致しました。また、3年ぶりに情報交換会を開催し、相互の親睦を深めました。

会員36名中、30名(内委任状出席6名)の出席を得て会議は成立し、佐瀬道則会長が議長席につき、定刻に会議を開始致しました。



令和4年度定時総会

議案審議に入り、「第1号議案 令和3年度事業活動及び決算承認に関する件」について、議長は専務理に説明を求め、成田広樹監事が監査報告を行った後、総会に諮り、原案を満場一致で可決承認致しました。

3年来の新型コロナへの対応、年明け後のウクライナ問題等、経営環境が大きく変化する中、中小企業診断士の立ち位置確保を基本課題と捉え、橋頭保確保の為に2022・3/17 中小企業庁と連合会本部とのPMI事業展開の協定締結を受け、これへの対応を検討しました。また、事業推進基盤充実に向け、コンプライアンスの強化や、インターシブ型研修への対応、PMI研修の実施等が求められている、との基本認識に立ち、正副会長・事務局長協議等、情報共有に努めR3FYの事業展開に任じました。なお、相互研鑽の場として、今出来る第一歩として、佐瀬会長が私塾「MS塾」を起ち上げました。

審議後、令和3年度総会以降に入会した、鈴木拓斗会員、高橋優太会員、渡部信子会員、渡邊望東会員から、入会后挨拶を頂きました。



引き続き議事に入り、報告事項で「第1号報告 令

和4年度事業計画及び予算収支計画」を報告致しました。

R4FY事業の第1点は研究会機能の再活性化です。事業承継・再生支援研究会は現時点で12名の申込を得ました。年度前半に研究会を開催し、年度方針を協議するとともに、PMI研修等実践的事业を実施致します。第2点は、調査研究事業の取組促進です。本部公募の調査研究事業には、14名の申込を得ており、全国連の採択を目指します。選外になった場合は、40周年記念事業の絡みもあり、県協会としての対応を検討致します。第3点は、「しんだんしフェスタ2022」に、現在本部会長を務めている米田英二氏を招いての率直な意見交換を行います。また、理論政策研修診断理論カリキュラムは、アンケートで最も要望のあった「営業革新」を選定しました。例年公募後3日目には枠が埋まる状況で推移しており、早期申込みを願います。R5FYは県協会創立40年目に当たり、総務委員会で記念講演事業や記念誌発行事業等の検討致します。

総会終了後、東北経済産業局より、小川竜二郎秋田県サポーター長、山本雄麻秋田県サポーターを講師に迎え、「秋田県における施策活用事例や中小企業・小規模事業者の支援策等」の講演を、会員の他、来賓の参加も頂き、開催致しました。



講演会に引き続き、3年ぶりに行われた情報交換会には、仲村陽子秋田県産業労働部産業政策課長、伊藤登志雄秋田県信用保証協会常勤理事、進藤礼誠秋田県中小企業活性化協議会統括責任者、畠山頼仁秋田県中小企業団体中央会事務局長の各氏の参加を頂き、活発に情報交換を行いました。



## 【令和4年度の主な事業】

### 1. 県協会の認知度向上に向けて

#### (1) 広報活動の強化・充実

会報誌 (No.30) の発行や、会員の使い勝手を重視してリニューアルしたホームページにより、積極的な情報発信を行う。

- ・会報の発行 (R4・9/1 No.30)
- ・ホームページでの情報発信 (随時)

#### (2) 40周年記念事業の検討

#### (3) “しんだんしフェスタ2022”の開催

中小企業診断士の日 (11月4日) 制定に伴い、中小企業診断士のPRを行う。

開催時期 R4・11/5(土) 15:00~16:30

※講演会概要は、P11に掲載

### 2. 切磋琢磨に向けて

#### (1) 中小企業診断士登録更新研修 (理論政策更新研修) の実施

※研修概要は、P11に掲載

#### (2) 事業承継・再生支援研究会の活性化

あらためての会員募集と、再スタート記念講演の開催及び今後の実践的事业展開

※記念講演会は、中小企業支援機関職員等にも開放

#### (3) 調査研究事業促進

関心を有する会員に働きかけ、調査研究事業への取組みを促進する。

#### (4) オープンセミナーの開催

県協会への御支援に感謝し、会員外へも無料開放し、

会員外との切磋琢磨の場を提供する。

#### ① 講演会

県内経営者等向けに、航空会社から県に派遣されているCAに“秋田の課題”を語っていただく。

演題 空から見た秋田のすがた(仮題)

開催日 R4FY年度後半(土) 15:00~16:30

※研修概要は、P11に掲載

### 3. 受託事業の実施

高度化診断事業等を受託・実施する他、産業廃棄物許可関連診断業務の会員への斡旋を行う。

## 《主要事業スケジュール》

R4・4/9(土)	監査会開催 遊学舎応接間
R4・4/23(土)	理事会(No.1) 遊学舎研修室No.1
R4・5/7(土)	定時総会 佐のいち
R4・6/14(火)	本部第68回総会
R4FY前半	事業承継・再生支援研究会再スタート記念講演会 アトリオン地下多目的ホールA(予定)
R4・8/27(土)	研修委員会開催 遊学舎研修室No.1(予定)
R4・9/1(木)	会報「診断あきた」No.30号発行
R4・9/3(土)	令和4年度登録更新研修会 遊学舎会議室
R4・11/5(土)	しんだんしフェスタ2022 15:00~16:30 パーティーギャラリーイヤタカ もえぎ(3F)
R4・11/18(金)	北海道東北ブロック事務連絡会議
R4FY後半	オープンセミナー アトリオン地下多目的ホールA(予定)
R5・3/25(土)	理事会(R5FY事業計画及び収支予算)



# 令和3年度活動記録

## (1) 会議等

年月日	行 事	参加者	場 所
2021/4/3	監査会 令和2年度事業及び決算に関する監査	監事・専務理事・事務局長	遊学舎
2021/4/24	理事会(第1回) R3FY総会開催の件・R2FY決算及びR3FY予算・会報誌No.29編集等に関する件	理事・監事・事務局長	遊学舎
2021/5/8	R3FY定時総会 R2FY決算・役員改選に関する件(審議)・R3FY予算等に関する件(報告)	会員	秋田市文化会館
2021/5/8	理事会(第2回) 代表理事選出・理事役職及び所属委員会の件	理事・監事・事務局長	秋田市文化会館
2021/6/30	理事会(第3回) 新規会員の承認に関する件:S会員 2021/6/7申込書提出分	理事・監事・事務局長	書面
2021/6/30	理事会(第4回) 新規会員の承認に関する件:T会員 2021/6/28申込書提出分	理事・監事・事務局長	書面
2021/8/28	研修委員会: 路論政策研修運営に関する件	研修委員・専務理事・事務局長	遊学舎
2021/11/19	東北北海道ブロック事務連絡会議	会長・専務理事	コラッセ福島
2021/12/31	理事会(第5回) 新規会員の承認に関する件:W会員	理事・監事・事務局長	書面
2022/3/26	理事会(第6回) R4FY総会開催の件・R4FY予算等に関する件	理事・監事・事務局長	遊学舎

## (2) 会長日程

年月日	会 議 名	場 所
2021/4/26	秋田県商工会連合商工会創生プラン 策定委員会	秋田ビューホテル
2021/5/18	秋田市中小企業振興条例 推進会議	秋田市役所 6F会議室
2021/5/19	中小企業診断協会全国連 理事会	(オンライン会議)
2021/5/26	あきた企業活性化センター 理事会	県庁第二庁舎 3F
2021/6/11	秋田県商工会連合会経営支援事例発表会	秋田ビューホテル
2021/6/15	中小企業診断協会全国連 定時総会	(オンライン会議)
2021/7/6	秋田県商工会連合商工会創生プラン 策定委員会	秋田商工会議所 7F
2021/7/8	秋田県中小企業再生支援協議会 全体会議	秋田商工会議所 7F
2021/7/15	秋田県事業承継ネットワーク会議	秋田商工会議所 7F
2021/8/26	中小企業診断協会全国連 広報委員会	(オンライン会議)
2021/9/24	中小企業診断協会全国連 理事会	(オンライン会議)
2021/10/5	秋田商工会議所経営発達支援計画 評価委員会	(オンライン会議)
2021/11/18	秋田県女性起業家大賞 審査会	秋田商工会議所 8F
2021/12/21	中小企業診断協会全国連 理事会	銀座貿易ビル貸会議室
2022/1/27	秋田市中小企業振興条例 推進会議	秋田市役所 5F会議室
2022/2/9	秋田商工会議所経営発達支援計画 評価委員会	秋田商工会議所 1F
2022/2/16	中小企業診断協会全国連 広報委員会	(オンライン会議)
2022/3/17	中小企業診断協会全国連 理事会	沖縄産業支援センター
2022/3/24	秋田県事業承継ネットワーク会議	秋田商工会議所 7F
2022/3/25	あきた企業活性化センター 理事会	県庁第二庁舎 3F



## (3) 各研修概要

年月日	イベント区分	演 題	講 師	場所&参加者
2021/9/4	理論政策更新研修	新しい中小企業政策	安杖一秋田県産業政策課政策監	遊学舎:59名
2021/9/4	理論政策更新研修	リピーター戦略と知的財産を活かした企業成長の実現	内藤義光中小企業診断士	遊学舎:59名
2021/11/6	しんだんしフェスタ2021	地方に於けるアニメビジネスとその展望について	櫻井 司 株式会社秋田アニメLab代表取締役	アトリオン:27名
2021/11/20	オープンセミナーNo.1	ワーケーションの現在地、秋田の課題と可能性	有坂 民夫 ㈱コンテンツ計画代表取締役	アトリオン:13名
2022/1/29	オープンセミナーNo.2	中小企業・小規模事業者の動向と支援策について	渡邊 正明 東北経済産業局経営支援課長	アトリオン:21名
2022/1/29	オープンセミナーNo.2	リモートワーク成功の必須要件～今、必要な情報セキュリティ対策～	小笠原 貴史 フォームズ㈱代表取締役	アトリオン:21名

## (4) 役員協議

年月日	テ ー マ	対 応
2021/4/1	R3FY定時総会&しんだんしフェスタ会場確保の件	正副会長・理事監事・事務局長
2021/4/10	R3FY本部長表彰者推薦の件	綱紀委員会:正副会長・事務局長
2021/4/10	R3FY定時総会会場変更の件	理事監事・事務局長・総務委員会
2021/4/13	新規会員の会費納入時期に関する件	正副会長・局長・総務委員会協議
2021/6/8	新規加入会員(S会員)の書面審査に関する件 議決美R3・6/30	正副会長・局長・総務委員会協議
2021/6/23	登記手続完了通知	理事監事・事務局長
2021/6/30	新規加入会員(T会員)の書面審査に関する件 議決美R3・6/30	正副会長・局長・総務委員会協議
2021/7/11	IPA活用研修事業の追加について	正副会長・局長・総務委員会協議
2021/7/24	岐阜県協会調査事業に対する協力の件	正副会長・局長・総務委員会協議
2021/8/11	IPA講師選定の件	正副会長。局長協議
2021/10/14	九士会開催中止の件	正副会長。局長協議
2021/11/18	オープンセミナーNo.1運営役割分担の件	正副会長。局長協議
2021/12/20	新規加入会員(W会員)の書面審査に関する件 議決美R3・12/31	正副会長・局長・総務委員会協議
2021/12/24	フェスタ2022米田会長招聘の件	正副会長。局長協議
2021/12/24	IPA研修運営条件の件	正副会長。局長協議
2021/12/26	オープンセミナーNo.2 開始時間変更の件	理事・監事・事務局長・研修委員会協議
2021/12/27	フェスタ2022米田会長招聘の件 招聘条件確認	正副会長。局長協議
2022/1/13	IPA講師確定に関する件	理事・監事・事務局長・研修委員会協議
2022/1/19	R4FY理論政策更新研修診断理論カリキュラムアンケート実施の件	理事・監事・事務局長・研修委員会協議
2022/2/4	R4FY理論政策更新研修診断理論カリキュラム決定の件	理事・監事・事務局長・研修委員会協議



# 令和4年度 理論政策更新研修開催案内

理論政策更新研修は、中小企業診断士更新要件のひとつである「新しい知識の補充に関する要件」のために実施する研修です。登録の有効期間5年間で5回の受講が必要です。

令和4年度秋田地区の理論政策更新研修を、次の日程により開催致します。

なお、秋田地区の受付は、前年度同様、(一社)中小企業診断協会本部が直接行います。

**日時** 令和4年9月3日(土)  
13:00～17:10

**場所** 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター) 会議室  
〒010-1403  
秋田市上北手荒巻字堺切24-2

## カリキュラム

13:00～14:00 新しい中小企業政策について  
**講師** 甲谷 暢 氏 秋田県産業労働部産業政策課政策監

14:05～15:35 (診断理論)営業力の可視化を端緒に業務改善と新規顧客開拓による営業革新

**講師** 渡邊 卓 氏 中小企業診断士

15:40～17:10 (事例研究)営業力の可視化を端緒に業務改善と新規顧客開拓による営業革新

**講師** 渡邊 卓 氏 中小企業診断士

## 《研修のねらい》

「コロナ禍」で「対面営業」による「新規市場開拓」という、最難関の営業革新を実行した石油製品卸売業の事例では、①営業力診断アンケートにより営業課題を可視化、②業務改善活動により営業時間を創出、③SFA導入により営業情報の迅速共有、④ターゲットリストを駆使して新規顧客開拓、の順序で進めている。企業経営者の最重要課題である、営業力強化による売り上げUPへの道筋を学ぶ。

※募集期間 R4・7/25(月)～8/26(金)

受講料 6,300円

申込先 一般社団法人 中小企業診断協会

《東京都中央区銀座1-14-11》

ネット申込可能 <http://www.j-smeca.jp/>



## しんだんしフェスタ&オープンセミナー&研究会のお知らせと結果報告

### 【しんだんしフェスタ2022の御案内】

#### 1. 開催趣旨

一般社団法人中小企業診断協会(本部)は、11月4日を「中小企業診断士の日」と定め、この日を中心に全国的に診断士制度のPRを行っています。

当協会では、この趣旨を踏まえ、また、日頃の県、市町村、商工会議所、商工会等中小企業経営支援機関、県内中小企業経営者の皆様からの数々の御支援に感謝し、「しんだんしフェスタ」を、本年度も実施致します。

#### 2. 構成

**演題** 未定

**講師** 米田 英二 氏

(一社)中小企業診断協会直前会長

**開催日** R4・11/5(土) 15:00～16:30

**場所** パーティーギャラリーイヤタカ もえぎ(3F)

### 【オープンセミナーの御案内】

毎年、県内中小企業診断士及び県内中小企業支援機関スタッフの皆様と共に研鑽し合う場として、オープンセミナーを無料で開催致しております。

#### ☆①事業承継・再生支援研究セミナー

**演題** 未定

**講師** 未定

本部推薦講師

**開催日** R4年度前半(土) 15:00～16:30

**場所** アトリオン地下多目的ホールA(予定)

#### ②オープンセミナー講演会

**演題** 空から見た秋田のすがた(仮題)

**講師** JALから県に派遣されている職員

**開催日** R4年度後半(土) 15:00～16:30

**場所** アトリオン地下多目的ホールA(予定)

### 【フェスタ・セミナー・研究会講演参加申込先】

オープンセミナーの開催区分毎に、受講者氏名、連絡先メールアドレスを明記し、次のアドレス迄お申し込み下さい。(様式自由)

[tomino-f@tune.ocn.ne.jp](mailto:tomino-f@tune.ocn.ne.jp)



リモートワーク成功の必須条件～今必要な情報セキュリティ対策～R3FY

# ● 会 員 一 覧 ●

(五十音順、敬称略、R4・8/1)

氏 名	所 属	相談対応連絡メール
荒 牧 敦 郎	(株)あきぎんリサーチ &コンサルティング	
石 川 聡	(株)あきぎんリサーチ &コンサルティング	
伊 藤 朗	(株)ABCオフィス	abc-office@voice.ocn.ne.jp
小笠原 貴 史	フォームズ(株)	ogasawa@nifty.com
小笠原 浩 之	中小企業診断士 小笠原浩之事務所	izo04430@orange.plala.or.jp
加賀谷 勝 臣	北秋田市役所	
鎌 田 晶 子	秋 田 県 よろ ず 支 援 拠 点	
川 辺 健 一	北 都 銀 行	
熊 井 春 美	(株)いなにわホーム	kuma@cna.ne.jp
栗 林 祐 治	北 都 銀 行	
櫻 田 誠 二	北 都 銀 行	
佐々木 正 記	(福)青嵐会	
佐 瀬 道 則	M S コ ン サ ル	michinori1217@yahoo.co.jp
佐 藤 徹	秋 田 県 庁	
佐 藤 善 友	(有) G F C	gfc@gfcweb.info
柴 田 淳	秋 田 県 中 小 企 業 団 体 中 央 会	
杉 山 健 一	秋 田 銀 行	
鈴 木 拓 斗	(公財)あきた企業 活性化センター	
高 橋 彦	中小企業診断士 高橋彦事務所	gencmisato@yahoo.co.jp
高 橋 優 太	秋 田 銀 行	
鶴 田 卓 也	あすな社会保険労務士・ 中小企業診断士事務所	taqyahead@gmail.com
富 野 忠 雄	中小企業診断士 富野忠雄事務所	tomino-f@tune.ocn.ne.jp
成 田 広 樹	高井会計事務所	
袴 田 貴	袴 田 貴 税 理 士 事 務 所	ta-hakama@ball.ocn.ne.jp
長谷川 晃	エンカレッジコ ンサルティング	a.h@encourage.consulting.biz
畑 沢 健	北 都 銀 行	
樋 口 清 行	中小企業診断士 樋口清行事務所	dogenzen@hana.or.jp
藤 崎 學	藤崎ビジネスサ ポートオフィス	fuji-mnb@uranus.dti.ne.jp
藤 嶋 智	秋 田 県 庁	
古 木 智		
堀 辰 生	秋 田 市 役 所	
松 舘 文 子	経営コンサルティング はーとBiz	heartbzakita@gmail.com
三 浦 雅 人	秋 田 銀 行	
山 崎 孝 二	中小企業診断士 山崎孝二事務所	ymzk-425@cna.ne.jp
吉 田 雅 史	税理士法人ザイム・ゼロ 佐藤会計事務所	
渡 部 信 子	コンパスakita	no-bu@mud.biglobe.ne.jp
渡 邊 望 東	秋 田 銀 行	

# 編 集 後 記

新型コロナ感染者が秋田県内に確認されてからもう3年目に入りました。この間、感染者は増減を繰り返し、マスクをつけた生活も当たり前の世の中になっています。

会議はリモートが主体となり、県外出張も激減、会議後の懇親会、歓送迎会なども自粛の連続で、日常生活も大きく変化しました。

ここ数年は、飛行機に乗ったことがない、新幹線にも乗っていない、東京にも行っていないなど、秋田県内だけで生活することが多くなりました。

かつて、景気後退、不況と言え、製造業が輸出の減少などで不振に陥り、生産調整による人員削減やリストラで、小売業や飲食などのサービス業も売上げが落ち込むという流れが多かったと思いますが、今回はいきなり飲食サービスや宿泊関係が直撃され、その一方で、製造業などは人手不足が続いているという、今までに経験したことの無いような経済状況となっています。

それでも、最近、経済関係団体の総会や総会後の懇親会も復活し、久方ぶりにリアルな集まりができたなどの喜びの声も聞かれるようになりましたが、暑くなり冷房で締め切った屋内にいる時間も増えることから、感染者は今後再び増加に転じるのではないかと心配する向きがあるのも事実です。

このような中でも、秋田県の人口減少、高齢化は待ったなしで進んでおりますので、県内中小企業者を取り巻く経営環境は益々厳しさを増す一方です。

私事ですが、4月に異動してから、商工会議所、商工会等の各種総会で中小企業経営者等の皆様と会う機会が格段に増えました。

このような厳しい環境下にあっても、中には、新たな取り組みを積極的に行っている企業経営者もあり、話を聞くにつけ、その旺盛なチャレンジ精神には圧倒されるばかりです。酒蔵の隣にワイナリーを建設中であつたり、関東圏に新業態の店舗を出店したりと確実に将来を見据えた投資を行っている経営者を見るにつけ、嘆いてばかりいてはしょうがない、マーケットは自分で作らないといけないと改めて実感させられています。

自分も、秋田県職員消費生活協同組合の専務理事を9年間ほど勤めてきましたが、6月末で退任しました。県庁の売店11店舗の運営ですが、経営は良い方向に転じれば上手くいくし、一端傾くと立て直しが大変というのを身にしみて感じてきました。やはり、チャレンジし続けると言うことが、コロナ時代、今まで以上に大切なのかもしいかなと思うこの頃です。

(佐藤 徹)